

会議等記録簿

会議名	令和7年度 第6回 グループホーム・栄田運営推進会議	記録者	職員 H
日時	自 R 8年 2月 26日 14時 0分 至 R 8年 2月 26日 14時 40分	出席者	※下記参照
場所	グループホーム・栄田 1階リビング		
議題	1. 令和8年2月搬送訓練報告、2. 令和7年12月活動報告について 3. 令和8年年1月活動報告について、4. 意見交換・その他		
	<p>【出席者】 ご利用者ご家族代表：A様、B様 諫早市代表：C様 認知症対応型共同生活介護について知見を有する者：D様、職員E 職員：職員F、職員G、職員H</p> <p>〈挨拶〉</p> <p>(職員G) 本日はお忙しい中、今年度最後の運営推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。今年度ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、関係機関の皆様の温かいご理解とご協力のもと、無事に1年を終えることができますことを心より感謝申し上げます。私どもグループホームは認知症のある方が住み慣れた地域でその人らしく穏やかに生活を継続できるように支援することを大切にしております。今年度も日々の生活支援を中心に季節行事や地域との関わり通じて、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごしていただける環境づくりに努めて参りました。また、運営推進会議でいただいたご意見やご助言はサービス向上や課題改善につながる大変貴重なものであり、職員一同の励みとなっております。来年度も地域に開かれた事業所として信頼されるグループホームを目指し、職員一同、より一層連携を深めながら取り組んで参ります。</p> <p>今回は2月に行いました搬送訓練報告と12月1月の活動報告をいたします。本日も忌憚のないご意見を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>1. 令和8年2月 搬送訓練報告について</p> <p>(職員G) 令和8年2月に行いました搬送訓練報告となります。実施期日は令和8年2月2日 15:00～15:30と2月5日15:00～15:40の2日間です。目的として、災害発生時（火災・地震等）において、職員が一人に対応せざるを得ない状況を想定し、入居者様および職員自身の安全を確保しながら、迅速な避難行動を身につけることとしています。参加者は職員9名です。訓練の流れとして、避難訓練時の一人搬送マニュアルに沿って説明をしました。（避難訓練時、一人搬送マニュアルの資料を見ていただく）一人搬送の基本原則としまして、入居者様の安全を最優先とする、職員自身の安全を確保する、無理な力を使わず短距離搬送を基本とする、状況に応じて周囲に声かけ、応援要請を行うとあります。</p> <p>一人搬送の方法としまして、車いすによる搬送、歩行介助による搬送、最後に引きずり搬送の最終手段があります。今回は最終手段の避難訓練を実施しております。掛布団を利用した搬送方法について手順を説明し実践しています。職員が入居者役になって階段の衝撃に対する体験を行いました。また、職員2名体制時の搬送方法について学んでいます。この体験が全て終わり反省会を実施して</p>		

います。（体験時の写真資料を見ていただきながら）布団を引いて、階段を下りる搬送方法を行っています。この搬送方法は、諫早市グループホーム連絡協議会の定例研修で学んだことを皆さんに伝達して体験していただく訓練となります。続きまして総評として、訓練してみても感想や課題についてですが、布団に寝て引っ張られて階段を下りた時は、階段の角が腰の辺りに当たった衝撃があり、少し痛いと思った。怖さもあり、目を閉じてしまった。布団では階段の上でも痛みをあまり感じないものだなと思った。掛布団の敷き方の違いで力の入れ方が違うと感じた。かなり難しい避難方法だと思うし、職員一人での対応は大変であった。命が関わる緊急時の避難方法だと認識した。搬送時、危ない体勢にならないように気をつけたいといけないと思った。布団の持ち方を教わりながら行いましたが思ってるようにはうまくできませんでした。衝撃を気にしながら不安を感じ取られないように思いきり実施したが、これで合っているのかわからなかった。思ったよりも少ない力で引くことができた。引かれる側の人も動かずに安全に行うことができたが実際の場面で入居者様を相手に行うことは恐怖心等で動くことがあるとケガのリスクがあると思った。階段はコンクリートなので非常時慌てないことも大切だと思った。一人搬送では自立の方や体動がない方に向いていると思う。パニックを起こす人や体動が多い人は掛布団で下ろすのは難しいと思う。との意見がありました。男性職員はそこまで衝撃はなくてよかったとの意見がありましたが、女性職員は布団で搬送される時、段差を越える時に腰が痛い思いをしたという意見が多かったと思います。まとめとなりますが、一人搬送を方法を学び、体感することができる貴重な時間だったという意見が多かったです。また、このような搬送をしないでいいように日頃から火災がおこらないように注意し、業務にあたりたいとの意見が上がりました。以上が令和8年2月の搬送訓練報告となります。この搬送訓練につきまして、ご意見、ご質問などございませんか。

(B 様) この総評で、男の人が引っ張ると女性の方が引っ張るのではちょっと違うのではと思いました。女性だったら布団のどの辺を引っ張るなど、私は経験がないので想像で言っていますが、どこを持つとかありますか。

(職員G) 諫早市グループホーム連絡協議会の研修では、入居者様の頭部と首回りの部分の布団を握って引くとそこまで力はかからない、女性の力でも大丈夫と学びました。しかし、実際には力が結構いるということに気付かしまして、他の方法も考えてブルーシートを敷いて摩擦を少なくしようとしましたが逆に危なかったのもう一度職員間で訓練を行って女性の力でも引っぱられて安全に移動することができるような方法を訓練できればと考えております。

(職員E) 引っぱる手順について、職員が引っぱられる役もして皆さんちゃんと腕を組んだようにしていますが、怖いですね。外に寝かされて腕をこうしてくださいとか、怖くないようにくるんだりとか、そのような方法について研修ではありませんでしたか。

(職員G) 研修では消防隊員の方からは、くるむという方法やベルトをつける方法もありますが実際に火災がおきてすぐに避難しないといけない時、ベルトをする余裕があるのかどうか、もし避難訓練をするのであればくるんだ方が安全が一番よいのではとの話がありました。実際、火災が起きている時は難しいのではないかと意見もありました。

(職員E) 私も習ったことがあるのですが、わざわざベルトを持ってくる、別の毛布でくるむのは到底できないので、できるだけ怖くないように体に寄せて引っぱると習いました。このまま引っぱると怖いし、物が落ちてきても怖いから

布団の角の所に体を合わせてと習いました。緊急時だから何でも仕方がない
というのと、利用者様の安全を守るというところがあるのだと思いました。
女性が痛かったというのは引っぱられる人が痛いと感じたということですか。

(職員 G) 引っぱられた側の人で、痛いと感じたそうです。

(職員 E) どのくらいのスピードで下ろしていくのですか。

(職員 G) 私が体験した感じでは、ある程度スピードがあった方が撫でられるような
感じで、逆にスピードが遅いと衝撃が強くなって痛いと感じましたが、
女性と男性とでは違っていて、やっぱり早くても遅くても痛いという意見
が多かったです。

(職員 F) 総評にある、搬送時、危ない体勢にならないように気を付けないといけない
と思ったとありますが、この危ない体勢というのは引っぱられている側の
人の体勢のことですか。

(職員 G) 引っぱる側の体勢になります。

(職員 F) 引っぱる側の職員も階段を後ろ向きに下りるのが危ないかなと思いました。
夜間帯は夜勤者が2人しかいないので、こうせざるを得ない場合も出てくる
のかなと思いました。貴重な体験をされたと思います。

2. 令和7年12月 1階活動報告、2階活動報告について

(職員 G) 令和7年12月の活動報告になります。12月31日時点で9名在籍、男性0名、女性9名、
平均年齢はA氏、I氏が誕生日を迎えられ、平均84.1歳となりました。前回は
平均84.4歳でしたが、入退居がありましたので変更があります。同じく、
平均介護度も平均3.1から2.9に変更となっています。

主な受診機関は記載の通りで入院者は特にありませんでした。職員研修等は、
事業所内勉強会で緊急時の対応に関する研修を行っています。他、第3回在宅
医療・介護関係者研修「薬を飲めない、を考える」、令和7年度身体拘束・
虐待防止ZOOM研修を受講しています。口腔衛生指導は口腔乾燥の原因について
学んでいます。行事はA氏、I氏の誕生日会を行い、12月25日にはクリスマス
ケーキを食べました。その他、大村城南高校2年生を実習を12月8日から11日の
4日間受け入れていました。実習生と一緒にクリスマスツリーの飾りつけをして
います。11月に作った干し柿を皆さんでいただきました。令和8年の干支の
クラフト活動を行いました。以上が12月の1階の活動報告になります。

次に12月の2階活動報告です。12月31日時点で9名在籍、男性1名、女性8名、
平均年齢はF氏が誕生日を迎えられ、平均88.2歳となりました。平均介護度は
F氏が要介護1から2へ、G氏が要介護2から4へ変更となり、前回の2.9から3.2と
なっています。受診状況から入院までは記載の通りです。主な受診機関も記載
の通りで、入院者は特にありませんでした。職員の研修、行事、その他につき
ましては1階と同様となります。以上、12月の2階の活動報告となります。

3. 令和8年1月 1階活動報告、2階活動報告について

(職員 G) 令和8年1月の活動報告になります。1月31日時点で9名在籍、男性0名、女性9名、
平均年齢はB氏が誕生日を迎えられ、平均84.2歳となりました。平均介護度は
前回と変わりありません。受診状況から入院まで記載の通りです。

受診機関は特に先月と変わりありません。入院は特にありませんでした。

職員研修等は、事業所内勉強会で事故発生又は再発防止に関する研修、12月受講

した「薬をのめない、を考える」の研修報告を行いました。他、訪問看護の理学療法士によるトランスファー勉強会、口腔衛生指導は口臭予防について学びました。行事は1月1日に新年会を行いました。おせちを職員が作り、食べていただき、お屠蘇を提供し、おやつの時間にはお正月の和菓子を食べて正月を迎えました。また、皆さんにはおみくじも引いていただきました。

また、行事としましてB氏の誕生日会を行いました。その他、書初めを行ったり、栽培していたイチゴの収穫を行いました。以上、1月の1階の活動報告になります。

次に1月の2階活動報告です。1月31日時点で9名在籍、男性1名、女性8名、平均年齢はA氏が誕生日を迎えられ、平均88.3歳となりました。平均介護度は前回と変わりありません。受診状況から入院まで記載の通りです。受診機関もほぼ変わりありません。入院は特にありませんでした。職員の研修、行事、その他につきましては1階とほぼ同様で、クラフト活動にて福笑いを行いました。

以上、12月の2階の活動報告となります。ご意見、ご質問はありませんか。

(C 様) トランスファーということを知ってもよろしいでしょうか。

(職員G) 入居者様によって体重増減があったり、下肢の筋力が低下していてベッドから車いすに移乗介助をしますが職員が腰痛になったりしますので、一度その移乗方法を理学療法士さんから学び、職員の腰痛予防と入居者様が安全に車いすに移動できる方法を研修として行いました。ほか、ご質問等ございませんか。

(D 様) 現在、面会はどのようになっていますか。

(職員G) 今、インフルエンザB型の警報が出ておりますので、短時間で30分を制限として面会していただいています。その際に検温や手指消毒や咳をしてないかなどの体調管理を行っています。最近10代未満や10代の方の発症率が長崎県で言うと86%を占めておりますので、子供に関しては注意しながら面会を実施している状況です。ほか、ご質問等ございませんか。

(職員F) 実際にここで暮らされている入居者様で、薬が飲みづらい方がいらっしゃる等、この研修を活かして実践できたという事例はありますか。

(職員G) 薬によっては苦い思いをする薬もあります。本当はよくないかもしれませんがどうしても大切な薬に関しては、あんこなどその方の好きなものに混ぜて服薬していただくような工夫をしていて、薬にあわせてゼリーやあんこなど嗜好品と一緒に服薬していただく方法が私たちは合っているのかなと思っています。今、カプセルが飲めない人がいますが、カプセルについてもアセスメントし、かわはら薬局とも提携しているので情報共有して、いい方法がないか考えていきたいと思います。他に、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら今月の運営推進会議を終了いたします。次回のご案内です。

令和8年4月23日(木)14時から予定しておりますのでよろしくお願いいたします。本日は出席いただきありがとうございました。